

平成23年9月9日

# 市立病院建設検討特別委員会

## 説明資料

資料

○病院整備構想(案)の評価について

病院建設事務局

## 病院整備構想(案)の評価について

### 1 評価の視点

立地上、財政上、事業性、及び病院の医療提供等に関する視点10項目(大項目)を評価項目としました。各項目を定性的に評価し、それを定量化(点数化)しております。

### 2 評価の手順

評価項目は、大項目(( )数字)、中項目(○付数字)及び小項目(イ、ロ、ハ・・・)に分類し、小項目の評価を大項目に集約しました。

(中項目がある場合は、同様に、小項目の評価を中項目に、中項目の評価を大項目にそれぞれ集約しております)。

小項目の評価については、定性的な評価方法として、◎(優れている)、○(良好)、△(やや劣る)、×(劣る)による評価をし、中項目又は大項目に集約しました。

集約した大項目の評価について、◎(優れている)との評価が結果としてなかったことから、○(良好)を10点、△(やや劣る)を5点、×(劣る)を0点として定量化しました。

なお、大項目(10)医療提供に関する2病院の評価については、重点項目とし点数の配分を2倍の20点としております。

### 3 必須評価項目

総合判定においては、松戸市立病院建替計画検討委員会の4つコンセンサス、答申の結論と提言に基づき、次の3つを評価項目としました。

大項目(7) 事業性(「早く」建設可能か)

大項目(8) 財政負担(「安く」建設可能か)

大項目(9) 病院施設の将来性

これらは、評価の必須項目と位置付け、この項目に評価点がないもの(×)は、合計点数が高得点であっても総合判定において対象から除くこととします。

### 4 総合判定

(各構想(案)の合計点数)

| 構想案  | 合計点数 | 備考             |
|------|------|----------------|
| 構想3  | 90   |                |
| 構想2  | 80   |                |
| 構想5  | 80   |                |
| 構想1' | 80   | 必須項目(7)(8)に×あり |
| 構想4' | 80   | 必須項目(9)に×あり    |
| 構想4  | 75   | 必須項目(8)(9)に×あり |
| 構想1  | 70   | 必須項目(7)(8)に×あり |

総合判定の結果では、構想3(超急性期病院を千駄堀、日常支援病院を上本郷)が最上位となりました。

大項目:(1)、(2)、(3)・・・  
 中項目:①、②、③・・・  
 小項目:(イ)、(ロ)、(ハ)・・・

病院整備構想(案)の評価

| 新たに追加した評価項目                                     | 構 想 案<br>上段:超急性期病院 候補地<br>下段:日常支援病院 候補地 | 構想1  |    | 構想1'   |    | 構想2   |    | 構想3   |    | 構想4   |    | 構想4'  |    | 構想5   |    |
|---|---|--|----|--|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
|   |   | 運動公園<br>高塚新田   | 5  | 運動公園<br>上本郷  | 5  | 千駄堀<br>高塚新田   | 5  | 千駄堀<br>上本郷  | 5  | 紙敷<br>高塚新田  | 10 | 紙敷<br>上本郷   | 10 | 高塚新田<br>上本郷   | 0  |
| (1) 交通の利便性確保 (超急性期病院のみの評価)                      |   | △  | 5  | △  | 5  | △   | 5  | △   | 5  | ○   | 10 | ○   | 10 | ×   | 0  |
|   |   | バス停留所は設置されているが、鉄道駅から徒歩圏内でない。                         |    | バス停留所は設置されているが、鉄道駅から徒歩圏内でない。                         |    | 鉄道駅から徒歩圏内でないため、バス路線の延伸が必要である。                       |    | 鉄道駅から徒歩圏内でないため、バス路線の延伸が必要である。                       |    | 鉄道駅から徒歩圏内であり、バス停留所の設置の可能性がある。                           |    | 鉄道駅から徒歩圏内であり、バス停留所の設置の可能性がある。                           |    | バス停留所は設置されているが、鉄道駅から徒歩圏内でない。  |    |
| ① 外来患者通院等のための公共交通の利便性                           |   | △  |    | △  |    | △   |    | △   |    | ○   |    | ○   |    | △   |    |
| (イ) 最寄り駅から徒歩圏内(500m)                            |   | ×  |    | ×  |    | ×   |    | ×   |    | ◎   |    | ◎   |    | ×   |    |
| (ロ) バス停留所の有無又は設置の可能性                            |   | ○  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    |
| (ハ) 最寄り駅又はバス停留所からの歩道整備状況                        |   | ○  |    | ○  |    | △   |    | △   |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    |
| ② 外来患者の通院のための道路の利便性                             |   | ○  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | ×   |    |
| (イ) 道路アクセス (道路ネットワークの評価)                        |   | ○  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | ×   |    |
| (ロ) 周辺道路の幅員の広さ                                  |   | ◎  |    | ◎  |    | ◎   |    | ◎   |    | ◎   |    | ◎   |    | △   |    |
| 追加 (2) 駐車場の整備について (超急性期病院のみの評価)                 |   | ○  | 10 | ○  | 10 | ○   | 10 | ○   | 10 | △   | 5  | △   | 5  | ○   | 10 |
|   |   | 外来患者用の駐車場及び医療スタッフの駐車場を敷地内に概ね整備することが可能である。            |    | 外来患者用の駐車場及び医療スタッフの駐車場を敷地内に概ね整備することが可能である。            |    | 外来患者用の駐車場及び医療スタッフの駐車場を敷地内に整備することが可能である。             |    | 外来患者用の駐車場及び医療スタッフの駐車場を敷地内に整備することが可能である。             |    | 外来患者用の駐車場を敷地内にある程度設けられる。医療スタッフの駐車場も周辺に設けられる可能性がある。      |    | 外来患者用の駐車場を敷地内にある程度設けられる。医療スタッフの駐車場も周辺に設けられる可能性がある。      |    | 外来患者用の駐車場及び医療スタッフの駐車場を敷地内に整備することが可能である。   |    |
| (イ) 外来患者用の駐車場を敷地内に設けられるか                        |   | ○  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    | △   |    | △   |    | ○   |    |
| (ロ) 医療スタッフの駐車場を設けられるか                           |   | ○  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    | △   |    | △   |    | ○   |    |
| (3) 救急病院の空白性の解消 (超急性期病院のみの評価)                   |   | ○  | 10 | ○  | 10 | ○   | 10 | ○   | 10 | ○   | 10 | ○   | 10 | ○   | 10 |
|   |   | 松戸市内の救急病院が概ね平均的に配置され、現在地に近接している。                     |    | 松戸市内の救急病院が概ね平均的に配置され、現在地に近接している。                     |    | 松戸市内の救急病院が概ね平均的に配置され、現在地にほぼ近接している。                  |    | 松戸市内の救急病院が概ね平均的に配置され、現在地にほぼ近接している。                  |    | 松戸市内の救急病院が平均的に配置されるが、市の南東に位置する。                         |    | 松戸市内の救急病院が平均的に配置されるが、市の南東に位置する。                         |    | 松戸市内の救急病院が平均的に配置されるが、市川市に隣接する。  |    |
| (イ) 概ね平均的に配置 (松戸市内の救急病院の平均的な配置を評価)              |   | ○  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    | ◎   |    | ◎   |    | ◎   |    |
| (ロ) 上本郷地域の救急医療の継続性                              |   | ○  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    | △   |    | △   |    | △   |    |
| (4) 災害に対する備え (超急性期病院のみの評価)                      |   | ○  | 10 | ○  | 10 | ○   | 10 | ○   | 10 | ○   | 10 | ○   | 10 | △   | 5  |
|   |   | 周辺を考慮した避難・救助活動はかなり容易であり、災害拠点病院として機能を発揮するが、地盤構造がやや悪い。 |    | 周辺を考慮した避難・救助活動はかなり容易であり、災害拠点病院として機能を発揮するが、地盤構造がやや悪い。 |    | 周辺を考慮した避難・救助活動は容易であり、災害拠点病院として機能を発揮しやすいが、一部地盤構造が悪い。 |    | 周辺を考慮した避難・救助活動は容易であり、災害拠点病院として機能を発揮しやすいが、一部地盤構造が悪い。 |    | 周辺を考慮した避難・救助活動は容易であり、災害拠点病院として機能を発揮しやすく、地盤構造は基準を満たしている。 |    | 周辺を考慮した避難・救助活動は容易であり、災害拠点病院として機能を発揮しやすく、地盤構造は基準を満たしている。 |    | 地盤構造は概ね良好であるが、建物配置計画上の制限を受ける可能性がある。災害拠点病院としては機能を発揮し得るが、周辺を考慮した避難・救助活動にやや困難性がある。 |    |
| (イ) 候補地の地盤構造 (地耐力、液状化等)                         |   | △  |    | △  |    | △   |    | △   |    | ○   |    | ○   |    | △   |    |
| (ロ) 災害拠点病院として機能を発揮できるか (病院に対する広幅員道路、多方向からのアクセス) |   | ◎  |    | ◎  |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | △   |    |
| (ハ) ヘリポート設置 (離発着の影響)                            |   | ○  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | ○   |    | △   |    |

【凡例】 ◎:優れている ○:良好 △:やや劣る ×:劣る

| 新たに追加した評価項目                      | 構 想 案<br>上段:超急性期病院 候補地<br>下段:日常支援病院 候補地 | 構想1<br>運動公園<br>高塚新田                          |   | 構想1'<br>運動公園<br>上本郷                          |   | 構想2<br>千駄堀<br>高塚新田                           |   | 構想3<br>千駄堀<br>上本郷                            |   | 構想4<br>紙敷<br>高塚新田                         |    | 構想4'<br>紙敷<br>上本郷                         |    | 構想5<br>高塚新田<br>上本郷                         |    |
|----------------------------------|---|--|---|--|---|--|---|--|---|---|----|---|----|--|----|
|                                  |   | △  | 5 | △  | 5 | △  | 5 | △  | 5 | ○   | 10 | ○   | 10 | ○  | 10 |
| (5) 建設可能性について (超急性期病院のみの評価)      |   | 600床の病院は建築可能であるが、他の施設整備等の課題がある。              |   | 600床の病院は建築可能であるが、他の施設整備等の課題がある。              |   | 600床の病院が建設可能であるが、周辺整備等の課題がある。                |   | 600床の病院が建設可能であるが、周辺整備等の課題がある。                |   | 600床の病院は、総合設計制度の活用により建築可能である。             |    | 600床の病院は、総合設計制度の活用により建築可能である。             |    | 600床の病院は建築可能であるが、周辺整備等の課題がある。              |    |
| ①600床の病院が建設可能な敷地                 |   | △  |   | △  |   | ○  |   | ○  |   | ○   |    | ○   |    | ○  |    |
| (イ)都市計画法上の用途地域 (×は建築不可)          |   | 第1種住居  |   | 第1種住居  |   | 台地:指定なし(市街化調整区域)<br>跡地:第1種低層住居専用・第1種住居       |   | 台地:指定なし(市街化調整区域)<br>跡地:第1種低層住居専用・第1種住居       |   | 66街区:近隣商業                                 |    | 66街区:近隣商業                                 |    | 第1種中高層住居専用                                 |    |
| (ロ)建蔽率(角地緩和) [%]                 |   | 60 (70)                                      |   | 60 (70)                                      |   | 台地:50<br>跡地:50・60                            |   | 台地:50<br>跡地:50・60                            |   | 66街区:80 (90)                              |    | 66街区:80 (90)                              |    | 60   |    |
| (ハ)容積率 [%]                       |   | 200  |   | 200  |   | 台地:100<br>跡地:100・200                         |   | 台地:100<br>跡地:100・200                         |   | 66街区:300                                  |    | 66街区:300                                  |    | 200  |    |
| (ニ)敷地面積 [h a] (※は構想案で想定した数値)     |   | 約3.0 ※                                       |   | 約3.0 ※                                       |   | 約4.5 ※                                       |   | 約4.5 ※                                       |   | 約1.1                                      |    | 約1.1                                      |    | 約3.9                                       |    |
| (ホ)都市計画法上の課題への対応                 |   | 公園の都市計画変更が必要であり、困難性がある                       |   | 公園の都市計画変更が必要であり、困難性がある                       |   | 調整区域のため、開発に伴う協議必要                            |   | 調整区域のため、開発に伴う協議必要                            |   | —   |    | —   |    | —  |    |
| (ヘ)建築基準法上の課題への対応                 |   | —  |   | —  |   | —  |   | —  |   | 総合設計制度の活用                                 |    | 総合設計制度の活用                                 |    | —  |    |
| ②施設整備の容易性                        |   | △  |   | △  |   | △  |   | △  |   | ○   |    | ○   |    | ○  |    |
| (イ)現在の土地利用状況及び建物の有無等             |   | ×  |   | ×  |   | △  |   | △  |   | ○   |    | ○   |    | ○  |    |
| (ロ)周辺整備の必要性                      |   | ○  |   | ○  |   | △  |   | △  |   | ○   |    | ○   |    | ○  |    |
| (ハ)事前調査 (埋蔵文化財及び廃棄物)             |   | ○  |   | ○  |   | △  |   | △  |   | ○   |    | ○   |    | △  |    |
| (6) 周辺地域との一体性及び発展性 (超急性期病院のみの評価) |   | ○  |   | ○  |   | ○  |   | ○  |   | ○   |    | ○   |    | △  |    |
|                                  |   | 10   |   | 10   |   | 10   |   | 10   |   | 10  |    | 10  |    | 5  |    |
|                                  |   | 病院と融和できる周辺環境であり、病院建設をきっかけとしたまちづくりに発展の可能性がある。 |   | 病院と融和できる周辺環境であり、病院建設をきっかけとしたまちづくりに発展の可能性がある。 |   | 病院と融和できる周辺環境であり、病院建設をきっかけとしたまちづくりに発展の可能性がある。 |   | 病院と融和できる周辺環境であり、病院建設をきっかけとしたまちづくりに発展の可能性がある。 |   | 病院と融和できる周辺環境であり、病院建設をきっかけとしたまちづくりに発展性がある。 |    | 病院と融和できる周辺環境であり、病院建設をきっかけとしたまちづくりに発展性がある。 |    | 病院と融和できる周辺環境であるが、病院建設をきっかけとしたまちづくりに発展性はない。 |    |
| (イ)病院と融和できる周辺環境                  |   | ○  |   | ○  |   | ○  |   | ○  |   | ○   |    | ○   |    | ○  |    |
| (ロ)病院建設をきっかけとしたまちづくり             |   | ○  |   | ○  |   | ○  |   | ○  |   | ○   |    | ○   |    | △  |    |

【凡例】 ◎:優れている ○:良好 △:やや劣る ×:劣る

| 新たに追加した評価項目 | 構 想 案<br>上段:超急性期病院 候補地<br>下段:日常支援病院 候補地 | 構想1<br>運動公園<br>高塚新田                              |    | 構想1'<br>運動公園<br>上本郷                              |    | 構想2<br>千駄堀<br>高塚新田                       |    | 構想3<br>千駄堀<br>上本郷                            |    | 構想4<br>紙敷<br>高塚新田  |    | 構想4'<br>紙敷<br>上本郷   |    | 構想5<br>高塚新田<br>上本郷  |    |
|-------------|---|--|----|--|----|--|----|--|----|--|----|---|----|---|----|
|             |   |  |    |  |    |  |    |  |    |  |    |   |    |   |    |
| 分離          | (7) 事業性(「早く」建設可能か)<br>(2病院合わせての評価)      | ×  | 0  | ×  | 0  | △  | 5  | △  | 5  | ○  | 10 | ○   | 10 | ○   | 10 |
|             |   | 運動公園の代替用地確保が確定できない。総合運動公園機能が果たせない。               |    | 運動公園の代替用地確保が確定できない。総合運動公園機能が果たせない。               |    | 用地確保の期間的な判断がしにくい。(用地の確保が短期的に可能であれば○)     |    | 用地確保の期間的な判断がしにくい。(用地の確保が短期的に可能であれば○)         |    | 用地は確保されているため、早期建設が見込める。                                  |    | 用地は確保されているため、早期建設が見込める。   |    | 周辺整備は必要であるが、事業計画が立てやすい。(周辺整備の見通しが立たなければ△)                       |    |
|             | (イ)土地所有者との交渉期間                          | △  |    | △  |    | △  |    | △  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    |
|             | (ロ)5年を目途とした新病院の完成                       | ×  |    | ×  |    | △  |    | △  |    | ○  |    | ○   |    | ○   |    |
| 分離          | (8) 財政負担(「安く」建設可能か)<br>(2病院合わせての評価)     | ×  | 0  | ×  | 0  | △  | 5  | △  | 5  | ×  | 0  | △   | 5  | ○   | 10 |
|             |   | 病院の事業費以外に、代替用地費や公園施設整備費等の負担がある。収益性については、財政負担が重い。 |    | 病院の事業費以外に、代替用地費や公園施設整備費等の負担がある。収益性については、財政負担が重い。 |    | 用地費用や周辺整備費用等の負担がある。収益性については、財政負担がやや重い。   |    | 用地費用や周辺整備費用等の負担がある。収益性については、財政負担がやや重い。       |    | 用地費用の負担がある。収益性については、財政負担がやや重い。                           |    | 用地費用の負担はあるが、上本郷の現有施設を利用することから、構想4に比べ事業費が軽減される。収益性については、財政負担がやや重い。 |    | 市有地であることから用地費の負担がない。収益性については、財政負担がやや軽い。                         |    |
|             | (イ)事業費(病院施設整備費)                         | ×  |    | ×  |    | △  |    | △  |    | ×  |    | △   |    | ○   |    |
|             | (ロ)超急性期病院における構想案別収支比較                   | ×  |    | ×  |    | △  |    | △  |    | △  |    | △   |    | ○   |    |
| 追加          | (9) 病院施設の将来性<br>(超急性期病院のみの評価)           | ○  | 10 | ○  | 10 | ○  | 10 | ○  | 10 | ×  | 0  | ×   | 0  | ○   | 10 |
|             |   | 将来的に当該地での建替え及び増改築が可能であるため、医療需要の変化に対応出来る。         |    | 将来的に当該地での建替え及び増改築が可能であるため、医療需要の変化に対応出来る。         |    | 将来的に当該地での建替え及び増改築が可能であるため、医療需要の変化に対応出来る。 |    | 将来的に当該地での建替え及び増改築が可能であるため、医療需要の変化に対応出来る。     |    | 医療需要の変化に対してはある程度対応できる設計をしているが、当該地での建替えは敷地に余裕がないため対応出来ない。 |    | 医療需要の変化に対してはある程度対応できる設計をしているが、当該地での建替えは敷地に余裕がないため対応出来ない。          |    | 将来的に当該地での建替え及び増改築が可能であるため、医療需要の変化に対応出来る。                        |    |
|             | (イ)将来の当該地での建替えの可能性                      | ○  |    | ○  |    | ○  |    | ○  |    | ×  |    | ×   |    | ○   |    |
|             | (ロ)将来の医療需要の変化への対応                       | ○  |    | ○  |    | ○  |    | ○  |    | △  |    | △   |    | ○   |    |
| (へ)を追加      | (10)医療提供に関する2病院の評価<br>(2病院合わせての評価)      | △  | 10 | ○  | 20 | △  | 10 | ○  | 20 | △  | 10 | △   | 10 | △   | 10 |
|             |   | 市民がよく利用する「日常支援病院」が市境にあることが問題。                    |    | 上本郷を中心とした医療ゾーンが構成される。                            |    | 市民がよく利用する「日常支援病院」が市境にあることが問題。            |    | 「超急性期病院」が千駄堀のため若干離れるものの上本郷を中心とした医療ゾーンが構成される。 |    | 市民がよく利用する「日常支援病院」が市境にあることが問題。                            |    | 医療ゾーンは2分されるものの、2病院とも駅に至便となる。構想上の医療機能提供体制の見直しが必要となる可能性がある。         |    | 医療ゾーンは2分されるものの、現有地であるため附帯施設などの活用など影響が少なく、構想案への移行のリスクが少ないと考えられる。 |    |
|             | (イ)患者受療行動の継続性確保                         | ○  |    | ○  |    | ○  |    | ○  |    | △  |    | △   |    | ○   |    |
|             | (ロ)2病院間連携の容易性                           | △  |    | ◎  |    | △  |    | ◎  |    | ◎  |    | △   |    | △   |    |
|             | (ハ)既存の関連施設、附帯施設の有効活用(看護学校等)             | ○  |    | ○  |    | ○  |    | ○  |    | △  |    | △   |    | △   |    |
|             | (ニ)院外薬局等、事業協力者の継続性確保                    | ○  |    | ○  |    | ○  |    | ○  |    | △  |    | △   |    | ○   |    |
|             | (ホ)医薬品、医療材料の調達における地理的優位性                | △  |    | ○  |    | △  |    | ○  |    | ○  |    | △   |    | △   |    |
|             | (ヘ)日常支援病院の位置                            | △  |    | ○  |    | △  |    | ○  |    | △  |    | ○   |    | ○   |    |
| 合計点数        |   | 70/110   |    | 80/110   |    | 80/110                                   |    | 90/110                                       |    | 75/110   |    | 80/110  |    | 80/110  |    |

【凡例】 ◎:優れている ○:良好 △:やや劣る ×:劣る